

## 1 学校教育目標

- 自ら考え進んで行動する子      ○ 心も体も鍛える子      ○ 仲良く助け合う子

## 2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小学校の学習課程を計画的に実施し、児童に確かな学力を培う学校</li> <li>○ 児童が生き生きと学び、自らの成長を実感できる学校</li> <li>○ 家庭や地域と協力し、その地区の中心となる学校</li> </ul>
○児童・生徒像	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主体的に考え、学ぶ楽しさを味わえる児童</li> <li>○ 挨拶、靴揃え、廊下歩き等の品格のある行いを身に付けた児童</li> <li>○ 互いに協力し、自分で考え、判断し、行動し、責任をとれる児童（自分たちの学校は自分たちで作る意識の醸成）</li> </ul>
○教師像	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童のよさや課題を的確に捉えて、毅然とした態度、褒めて伸ばす教師</li> <li>○ 協働意識をもち、常に向上しようと努力する教師</li> <li>○ 保護者・地域と協力し合って、児童の健全育成に努める教師</li> </ul>

## 3 学校の現状及び前年度の成果と課題

### 【学校の現状】

- 令和5年度の区学力調査では、通過率（2科平均）が、区平均を0.7ポイント下回った。（国語：1.6ポイント上回り、算数は3ポイント下回った。）
- 感染症対策をしながらも、教育活動や学習形態をできるだけ工夫改善し、授業時数を確保し、教育課程を実施した。
- 特別支援の2教室（難聴・言語障がいと情緒障がい）設置校として、きめの細かい個別支援を行っている。

### 【前年度の成果】

- 大型ディスプレイやタブレット端末を活用し、個別化や素早い全体意見の集約など ICT を効果的に授業に取り入れた。
- 心の三名人や学習の約束に取り組んで、児童に品格ある行動を定着させた。
- 調査の結果を基に、学年の重点種目を決めて取り組み、体力・運動能力の向上を図った。

### 【今年度の課題】

- AIドリルを活用し、学習の個別化を図る。      ○ 品格ある行動を常に意識させる。      ○ 全体的に体力向上を行い、運動の楽しさを味わわせる。

## 4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R3	R4	R5	R6	R7
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	品格向上	○	○	○	○	○
3	体力向上	○	○	○	○	○

## 5 令和6年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン								
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●		
昨年度に引き続き、区学力調査の通過率が区平均を超えるよう、基礎・基本を大切に授業を行い、児童に学ぶ楽しさを味わわせる。		今年度の区調査通過率（区平均を2科目とも）上回ること 2月調査の平均正答率が4月の結果を上回ること		自己評価の際に記入						
B 目標実現に向けた取組み										
新・継	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●	
1 継続	基礎学力の確実な定着 計算コンテストと漢字コンテスト	全学年 漢字9月 計算6月 は2～6年生のみ	年2回 漢字9月と1月 計算6月と12月	【指導者体制】各担任 【取組のねらい】現学年の基礎学力の定着を図る。 既習学習に関するテストの実施（BSタイムや家庭学習の活用）	テスト結果の回収と管理職の確認	テスト結果が90点以上の児童がクラスの8割以上	自己評価の際に記入			
2 新規	○学力調査後の分析・面談	全学年	4月、7月、2月	【指導者体制】全教員 自校採点をしたのち、個別指導に生かす。 【取組のねらい】テスト後に学年ごとに調査結果の分析・検討を行い、具体的な対策を検討し、一覧表で共有する。	定着度確認テスト	目標値通過率85%を目指す。				

3 新規	○かけ算 補習	第2学年 以上 九九に課 題のある 児童	年2回 7月、 12月	【指導体制】 各担任・管理職・専科 【取組のねらい】 2年生以上の学年を対象 にかけ算九九の定着がで きていない児童を対象に 担任・管理職・専科教員が 少人数で指導にあたる。	かけ算の暗唱 とかけ算定着 テスト	正答率 100%を 目指す。			
4 継続	○読書活 動の充実	全学年 ① 読み 語り ② 読書 月間	①通年 ②6月 と 11月	【指導体制】 ① 図書委員会・図書ボラン ティア ② 担任・図書支援員 【取組のねらい】 読書習慣を身に付け、興味関 心のある本に触れる機会を 作る。	① 児童アン ケート ② 読書月間 で	6月・11月 1年生 10冊 2年生 15冊 3年生 400P 4年生 450P 5年生 500P 6年生 550P 達成率80% を目指す。			
5 継続	○授業改 善	①足立ス タンド アの徹底 ②高学年 での教科 担任制 ③国語・ 算数テス ト	① ② 通年 ③2月	【指導体制】①②全教員①指 導専門員からの授業観察と 授業改善 5名 【取組のねらい】 ①足立スタンダードの徹底 ②教科担任制による分かり やすい授業・楽しい授業教科 ③授業改善の成果	① 教科指導 専門員か らの報告 と教員へ のアンケ ート ② 児童アン ケート ③ テスト	① 満足度 90% ② 授業が分か りやすいが 90%以上 ③ 2月のテス ト、平均8 0点以上	<b>自己評価の際に記入</b>		
6 新規	○AIドリ ルの活用	全学年・ 全教科	① 通 年 ②朝学 習	【指導体制】各担任・専科 【取組のねらい】 ①②効果・効率的で個別最適 な学習を行う	① ②担任に よる月ご との確認	① ②年間10 00題通過 を90%			

重点的な取組事項－2		品格向上			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
児童の規範意識や帰属意識を培うことで、自己肯定感を高め、品格ある態度や行動を身に付けた児童を育成する。		児童アンケートで各項目に Yes と回答する児童の割合が、対象児童の 8 割を超える。	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
学習や生活のきまりである「弥生スタイル」を週目標や授業で取り上げ、きまりを守る態度を養う。	児童アンケートで、「きまりを守っている」「学習に集中している」肯定群の児童が 8 割以上	弥生小スタイルや学習のきまりは、教室に掲示して、児童がいつでも確認できるようにして意識付けし、全教職員でも声掛けをしている。職員夕会でも定期的に確認をしている。	自己評価の際に記入		
学級活動や縦割り活動を通して、学級や学校の一員であることの意識を培う。	相手の嫌がることをしない」「友達のよいところを見つけている」と回答する肯定群の児童が 8 割以上	低学年は帰りの会で「今日のキラさん（友達による行動評価）」を公表し、中高学年は週末の帰りの会に「ナイスプレー（善行）報告会」を開く。教員がよい所を見つけ、その場で褒め、全体でも価値付けをする。			
心の三名人（挨拶・廊下歩き・靴揃え）に取り組み、自己肯定感を育む。	児童アンケートで「三名人を心がけている」の肯定群児童の割合が 8 割以上	代表委員による三名人行動の重点期間を設けて『三名人カード』に自己評価し、それを担任が評価・改善を図る。教職員全員による声掛けと朝会、集会後のチェック。			

重点的な取組事項－3		体力向上			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
体力・運動能力調査の体力合計点の伸長を目指して、多様な運動に取り組み、運動する楽しさを味わわせる。		学年別男女別 12 の集団が体力調査の 8 種目すべて区の T スコアを上回り、「運動をすることは楽しい」の肯定群の割合が 8 割以上	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
(1) 多様な運動に取り組み、体力・運動能力を伸ばす。	学年別男女別の 12 集団が 8 種目すべて区の T スコアを超える。	体力調査の弱点種目は、長座体前屈、ソフトボール投げである。特に女子のスコアが低いので、体育の準備運動や投げ方教室等も行い、向上を図る。その他、補充の運動（トレーニングタイム）には業間運動でらんらんランニング・なわとび等で体力向上を目指す。	自己評価の際に記入		
(2) 友達と協力したり、競い合ったりして、運動する楽しさを味わう。	児童アンケートで「運動することが楽しい」と回答する割合が 8 割以上	教師の授業力向上を目指し、授業改善を図る。児童にはどの種目も自分のめあてをもって、主体的に友達と関わる場面を設けながら運動に取り組みさせる			
(3) めあてをもって運動し、運動後には、取り組んだことを振り返る。	児童アンケートで「運動のめあてをもって取り組んでいる」と回答する割合が 8 割以上	運動の終末に、「振り返り」を發表させる。(授業・体力テスト・マラソン月間・短縄・長縄の取組)			

## 6 まとめ

### (1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

自己評価の際に記入します。  
経営計画の策定段階では、このページは行数を減らして圧縮したり、ページ自体を削除したりした上で、公表していただいても差し支えありません。

### (2) 保護者や地域へのメッセージ

### (3) その他（学校教育活動全般について）